

# ひろば

— 第 173 号 —

2022年10月1日



## 広報特集

JIYUUGAOKA NEWS NETWORK



### 学びの丘学園 学校運営協議会の役割

地域学校協働本部を設置し、学校・家庭・地域の行事を連絡調整して協働した活動になるようにします。目指す子ども像として、知…主体的・対話的に学ぶ子ども 徳…自他を大切にし、かかわりを深める子ども 体…意欲的に健康や体力を増進する子どもという3つの柱を立てています。知に関しては学び甲斐部会（子どもたちの支援）、徳に関しては過ごし甲斐部会（コミュニケーション）、体に関しては働き甲斐部会（子どもたちの地域貢献活動）として、それぞれの部会でできる協働事業を考え、子どもたちの育ちとともに、家庭・地域の育ちも増幅していくよう考えながら協議を進めています。



#### 地域



発行：自由ヶ丘地区  
コミュニティ運営協議会  
住所：自由ヶ丘3-12-11  
TEL：32-5594 FAX：35-3250  
メール：jiyuugaoka-cc@oboe.ocn.ne.jp  
http://www.jiyugaoka-cc.com/

自由ヶ丘人口調査  
【令和4年8月31日現在】  
世帯数 6,389世帯  
人口 14,848人  
男性 7,039人  
女性 7,809人



コミュニティ 塚本事務局長

コミュニティは、地域と学校をつなぐ役目を果たしてきました。今年度は『子どもおとな会議』を実施し、大人を中心で解決してきたまちの課題を、子どもの目線を加えて新しい解決法を見つけて、子どもに達成感を味わってほしい。



コミュニティ 牟田さん



コミュニティ 占部さん

子どもたちにとって大切な組織です。私は地域代表として、学校・家庭ではできないような楽しみを味わえる居場所づくりや体験教室を通じて子どもたちとかかわり、「地域の話しやすいおじちゃん」として学校やPTAと連携して支え合える地域に！

#### 家庭



協議会の中で、学校と家庭と地域がそれぞれ責任をもって、自由ヶ丘の子どもたちのための良いまちづくりを考えています。それぞれの思いがつながって大きな力になればきっと良い街に！貢献できる家庭の役割を考え、自分から率先して実行します！



自中PTA会長 荒木さん



自由ヶ丘  
小学校  
杉山校長

自由ヶ丘に住む子どもたちが、この町で楽しく学びながら、将来互いに協力してより良い町を作る担い手となるように、地域・家庭・学校のそれぞれの知恵を出し合う場だと思います。



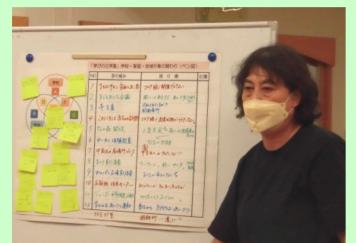
#### 学校



自由ヶ丘  
中学校  
西島校長

学びの丘学園の教育目標「自己教育力と協働的学習力を身につけた子ども」の育成を掲げ、学園・家庭・地域が連携しながら、知・徳・体のバランスの取れた児童・生徒を育成しています。

5月13日（金）の協議会では、「学校」「家庭」「地域」の3つのグループに分かれて、これまでしてきたこと、これからやりたいこと、困っていることなど、それぞれの立場で活発な意見が出されると、それに対して別のグループから助言やアイデアが次々と出ました。こんなに活発なデスカッションは珍しく、困っていることなどに対しては、「そういう風に困っているのは知らなかった。事前に分かっていれば対応できることもある」など心強い意見も飛び出しました。



9月13日（火）、日ごろの子どもたちの様子を自小に見に行きました。授業参観を通して見た学校の困りごと。それについて家庭や地域でできることを話し合いました。困りごとが表に出たことで、これから先、家庭や地域のできることを具体的に考えることができます。



## 帰ってきた！自由ヶ丘文化まつり



みなさん、お待たせしました～！今年は自由ヶ丘文化まつり復活！！です。まだコロナ禍ではあります、感染防止の対策を取りながら、できること最大限での開催です！みなさん一緒に楽しみましょう！

《日時》10月29日（土）10:30～16:00

\*雨天の場合は10月30日（日）

《場所》自由ヶ丘コミセン 駐車場

\*ホールでは、「作品展」を10/29（土）、30日（日）10:00～17:00で開催します。

\*感染状況により、開催を中止することがあります。

\*当日は、駐車場に限りがあります。（図書の受取・返却・部屋の予約などのお客様は、お急ぎでなければ、11/1（火）以降の来館をお願いします。）

\*詳しくは、10月15日号の「まつりあれこれ」をご覧ください。

☆11月6日（日）「芸能祭」を盛大に開催予定です！

#### Jまちカフェ

### あいあいマルシェは 笑顔のマルシェ



8月20日（土）、コロナ禍で不安もありましたが、約120人（うち子ども45人）のたくさんの人々に来ていただき、元気に開催できました。夏休みということもあり、おこづかいをにぎって来てくれた小学生が多く、買い物もワークショップもにぎわいました。夏休みの思い出の1つになってくれたかな～と勝手に笑顔になりました。

木育ひろばでは、夢中になって遊ぶ子どもの姿が印象的で集中力を育む時間を大人と一緒に感じることができました。

他にも、新鮮野菜やおいしいパン、手作り雑貨、リユースコーナー、癒しのコーナーまであり、たとえるならば、このマルシェは…「笑顔の宝石箱や～」



コロナの不安は尽きませんが、そんな中でも足を運んでいただき、「笑顔」というおみやげをもらい、開催して本当に良かったと、私たちも「笑顔」で終わることができました。



#### 自由の森遊歩道を守る会

### 自由の森から、名月や～



9月10日（土）、夕暮れが近づく頃、自由の森遊歩道を守る会のボランティアさんと子どもたちが軽やかな足取りで山道を登っています。日ごろから整備されているので安心して登ることができます。目標は第1展望所！日が暮れる頃にはたくさんの人（70人超）でにぎわいました。

お月様が出るまでの時間を使って「お月様」についてのお話を、ボランティアの岡本市議にしていただき、今か今かとお月様の登場を待ちます。「あー赤いお月様が出たよ」「おひさまみたい」子どもたちの声が聞こえ、東寄りの空を見ると、恥ずかしそうに雲に隠れながら「中秋の名月」が顔を出してくれました。みなさん思い思いに写真を撮ったりしながら、名月を堪能しました。帰るときは真っ暗ですが、ボランティアのみなさんのサポートで安全に降りくることができました。なんとお土産に団子をいただき、子どもたちの顔は、今日のお月様みたいにまん丸な笑顔でした。

